

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

□の数字は、教科書のページ数です。

**2年 お手紙**

□ 49~63

● がまくんとかえるくんの、お互いを思いやる心を描いた物語です。

**がまくん**

- 手紙を一度ももらったことがない。
- 来るあてのない手紙を毎日待っている。

**かえるくん**

- がまくんが悲しい思いで手紙を待っていることを知り、自分も悲しくなる。
- 自分ががまくんに手紙を出そうと思いつく。

かえるくんの気持ちを知ったがまくんは、とっても喜んだよ！



**1年 いろいろな ぶね**

□ 43~53

● いろいろな船の役目・つくり・できるところについて書かれた説明文です。

● 客船、フェリーボート、漁船、消防艇についてカードにまとめます。

- ① 役目…何をするための船か。
- ② つくり…何があるか。
- ③ できること…どんなことができるか。

何を積んでいるか。

それぞれの役目を果たすために便利につくりになっているんじゃない。



**4年 ごんぎつね**

□ 31~52

● 人間(兵十)にいたずらの償いをする小ぎつね(ごん)の物語です。

● ごんの気持ちの変化を読み取ります。

● ちよっといたずらがしたくなる。

● いたずらを後悔する。

● いたずらの償いに鯛を投げ込み、栗や松茸を運ぶ。

● 償いの気持ちを気づいてもらえない。火縄銃で撃たれて初めて、兵十に気持ちを通じる。



栗や松茸をくれていたのがごんであることに気づいた時の、兵十の気持ちも考えてみよう。



**3年 モチモチの木**

□ 41~59

● 峠のりょうし小屋にじさまと二人でくらす、五才の豆太の物語です。

1 おくびょうな豆太は、じさまなしで夜中に一人でせつちんにも行けない。

2 今夜は、小屋のすぐ前のモチモチの木に、勇気のある子どもしか見ることができない灯がともるといふ。

「……それじゃあおらは、とつてもだめだ……。」

3 その真夜中に、じさまが腹を押さえて苦しんだ……。

豆太は、一人で医者様を呼びに行けるかしら。



**6年 ヒロシマのうた**

□ 166~189

● 原爆投下直後の広島で、「わたし」が助けた一人の赤ちゃんをめぐる物語です。

原爆と広島での出会い

七年後の再会

十五年後の再会

● 兵隊だった「わたし」が、一人の赤ちゃんを助ける。

● ヒロ子が中学を卒業するまで、何も打ち明けないことにする。

● ヒロ子に本当のお母さんのことを話す。ヒロ子は強い子に育っていた。

この作品がうたったえたいことを、一緒に考えてみよう。



**5年 大造じいさんとがん**

□ 168~185

● 大造じいさんと、残雪という一羽のガンの、戦いと友情の物語です。

● 場面の様子を考えながら、人物の心情の変化に注意して読みます。

- 1 いつも残雪にやられて、一羽のガンも手に入らない大造じいさん。
- うなぎばりをしかける。
- 小屋の中にかくれる。
- おとりを使う。
- 2 おとりを助けようとする残雪に感動する大造じいさん。
- 残雪を放してやり、堂々と戦おうと呼びかける。

